

湯梨浜町人権教育推進協議会だより

～変えようよ 小さな勇気を 行動に～

湯梨浜町人権教育推進協議会は、地域、企業、学校、行政などで組織され、次の3つの基本方針を定めて町民の人権教育・啓発の推進に取り組んでいます。

- ① 人権問題を自分の問題として捉え、自他の人権を守るための行動につながる取り組みを進める。
- ② 町民一人一人が人権尊重社会の担い手であり、人権問題を主体的に解決できる力を育てる。
- ③ 行政・学校・家庭・職場・地域社会が連携を図り、一体となって課題解決に向けて行動する。

本協議会が実施する講演会などの事業は、町、町教育委員会との共催で取り組んでいます。平成28年度に取り組んだ事業内容の一部を紹介します。

町民のつどい（トーク&コンサート）

期 日 平成28年6月25日（土）
会 場 ハワイアロハホール 大ホール
演 題 「心に響く命の音」
出 演 智内 威雄さん（左手のピアニスト）



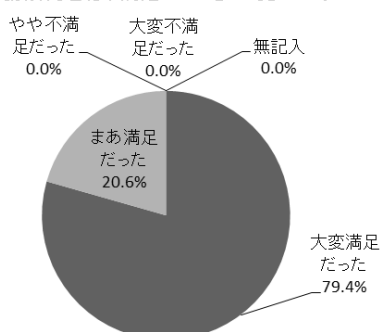
東京音楽大学を卒業後、ドイツのハノーバー音楽大学に留学され、数々のコンクールにも挑戦するなど、順調にピアニストへの道を歩んでいた智内さんは、局所性ジストニアという難病を発症し、両手演奏ができなくなりました。幼い頃から音楽の英才教育を受け、音楽家以外の道はないとピアノ以外の演奏家や指揮者などを模索しましたが、左手のピアノ音楽と出会い、再びピアニストとしての未来を切り開くことになったのです。

自分が病気になって初めて「左手の音楽」と向き合い勇気や希望をもらったこと、できないことに目をむけるよりできることを増やしていくことが大切であることなど、自身の体験を通して来場者へ希望の言葉をたくさん語りかけてくださいました。「ステレオタイプに『こうだ』と決めつけてしまうと案外と損していることがあり、先入観など壁を取り払って見てみると、体験したことのないような世界が広がることもある。」と固定観念に縛られない柔軟な発想で困難を乗り越えてこられた体験には、来場者の多くが感銘を受けました。「自己の置かれた状況を受けとめながら研鑽を積み重ねている姿は胸を打った。」、「超絶技巧とさわやかな語り口から、夢を持って歩み続けることのすばらしさを感じた。」など多くの感想も寄せられました。

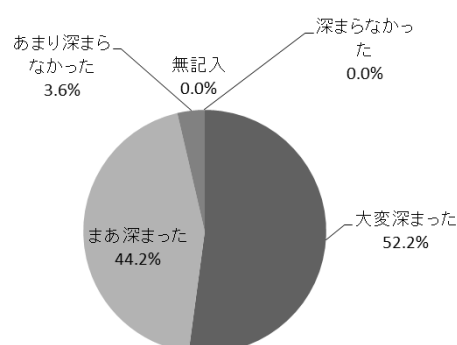
町民のつどいでは、今までにも落語やバンドライブなどと組み合わせることで、町民のみなさんに人権と自分との関係を深めていただけるような内容を提供できるよう工夫しています。今後もたくさんのご参加をお待ちしております。

イベントデータ 参加者数：344人（うちアンケート回答者165人）回収率47.9%

講演内容は、満足のいくものでしたか。



人権問題について関心や理解が深まりましたか。



ゆりはま人権セミナー①

期 日 平成28年7月13日（水）

場 所 町中央公民館 大講堂

演 題 「もう5年?! まだ5年?! ~東日本大震災 避難者支援から考える~」

講 師 佐藤 淳子さん（とっとり震災支援連絡協議会事務局長）

東日本大震災の発生から5年が経過し、多くの人々の記憶から薄らいでいく中で改めて震災をふり返り、支援者の立場、避難者の立場から多くの情報提供をいただいた講演会でした。

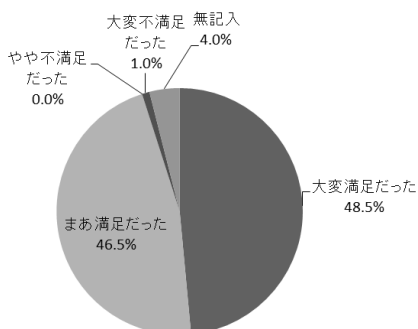
災害は時や場所を選ばず、予期せずして自分も当事者になることがあります。そのような中で「自分ごと」として日頃から考えていく事が必要であり、普段の生活の中で性別役割分担意識や習慣などを見直しておくことも大切な災害対策だと佐藤さんは話されました。また、原発の風評被害など情報をもたらす人権侵害についても触れられ、様々な情報が錯そうするなかで、できるだけ正確な情報を得ること、その中で自分の考えを持ってあらゆる場面で判断していくことの大切さを話されました。

災害に強い地域を作るには、住民の人権意識の高さが大切であり、日頃から心がけていくことを意識づけていくよい機会になりました。

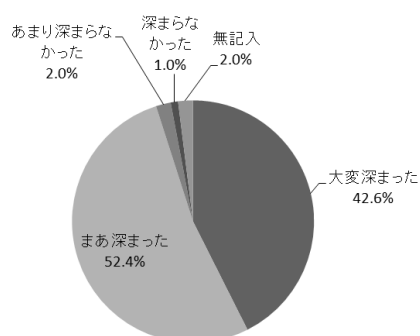


イベントデータ 参加者数：190人（うちアンケート回答者 101人）回収率53.2%

講演内容は、満足のいくものでしたか。



講演内容は、満足のいくものでしたか。



ゆりはま人権セミナー②

期 日 平成28年9月14日（水）

場 所 町中央公民館 大講堂

演 題 「障がい者雇用について

～共に活躍する社会のために～

講 師 森 玲子さん（県厚生事業団 障害者就業・生活支援センターくらよし 相談主幹）

ゆりはま人権セミナーを開催します

「障がい者雇用について
～共に活躍する社会のために～」

9月14日（水）

講師 森 玲子さん
(社会福祉法人障がい者就業・生活支援センターくらよし 相談主幹)

場所 町中央公民館 大講堂

時間 19:00～20:30

今後のゆりはま人権セミナー

日 時	場 所	内 容
11月15日（水）	町中央公民館 大講堂	講師：川口 幸江さん（県南町中央公民館福祉センター） 演題：子どもの人権について

お問い合わせ：障がい者就業・生活支援センター
生活学習・人材開発課 TEL 0859-35-5289

主催 湯原町 湯原町教育委員会 湯原町人権教育推進協議会

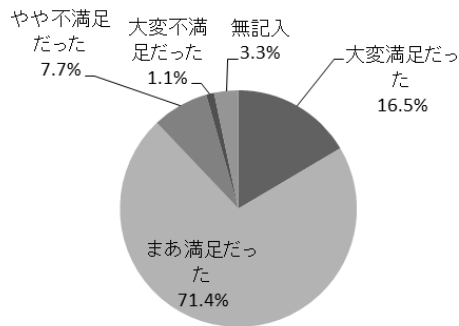
障がい者が就労するための相談支援体制や継続していくための取り組み、障がいのある人が就労しやすい環境整備など、共に活躍できる社会づくりについて、図や表を示しながら、法、制度について説明くださいました。トライアル雇用やジョブコーチ支援（職場適応援助者）があり、当事者も受け入れる企業も、双方が緩やかに適応していくための工夫がなされていることがわかりました。また、支援センターの

関わりによる成功事例や、職場の一人一人としてどのようなことを心がけていけばよいのか話され、最後に様々な個性と価値観が受け入れられる社会、障がい者雇用があたりまえの社会を目指しましょうと提言されました。参加者からは「障がい者が働きたいと思っても現実はなかなか難しい状況がわかり、共生社会実現はまだまだだと思い、もっと学ぶことが大切だと思った。」、「働くときの配慮をちゃんとしていれば、その人は力を発揮できるということ、話し合いを持つことで仕事量や内容も決めつけなくてすむということがわかりました。」など感想が寄せられました。一方で「企業トップ向けの内容ではなかったか。」という意見もいただきました。

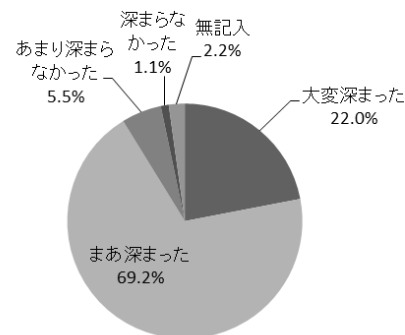
すべての人が気持ちよく働いたり、地域の担い手として活躍できる社会を目指す中で、誰もが当事者になったり、身近な人を支える立場になりうることを考えていきたいですね。

イベントデータ 参加者数：134人（うちアンケート回答者 91人）回収率67.9%

講演内容は、満足のものでしたか。



人権問題について関心や理解が深まりましたか。



ゆりはま人権セミナー③

期 日 平成28年11月16日（水）

場 所 町中央公民館 大講堂

演 題 「地域から子どもの人権を考える

～子どもの貧困問題に対して私たちにできること～

講 師 川口 寿弘さん（鳥取市中央人権福祉センター副所長）

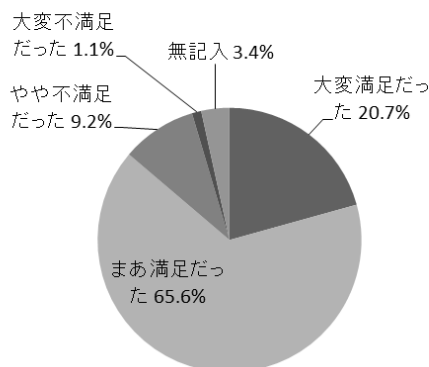
社会全体の課題として、親の経済的な貧困に関わる子どもの貧困が関心を集めています。鳥取市で生活困窮者支援に携わられる川口寿弘さんに子どもの貧困問題についてご講演いただきました。貧困は社会的要因であるにもかかわらず、当事者の自尊心を傷つけ、他者からは本人の問題（努力が足りないなど）とされ、人とのつながりが絶たれていくと川口さん。さらに、豊かな人間関係が構築できず経済的貧困状態であることが、結果的に子どもの将来から安定した就労や生活を奪ってしまうと説明されました。鳥取市における学習支援、子ども食堂の取り組みでは、課題を抱える子どもへの支援を将来的な行政コストの削減や地域づくり、まちづくりの展望をもって実践されているそうです。支援する側・される側の関係をこえて皆で考えていくことは、新たな地域コミュニティの創造が期待できると話されました。



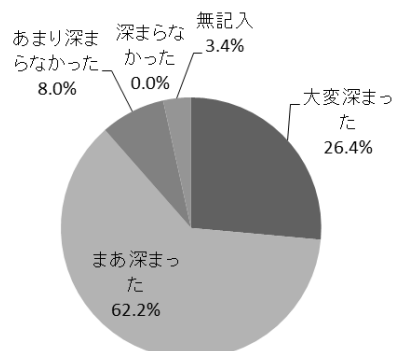
アンケート結果では、満足度、理解度共に90%未満でしたが、新たな社会問題、人権問題として周知し、問題提起できたのではと考えています。子どもの貧困は決して都会の話ではなく、困り感を抱えた子どもが身近にいることに気づき、それぞれの置かれた立場で何ができるのかを一人一人が考えていくことが大切です。

イベントデータ 参加者数：132人（うちアンケート回答者 87人）回収率65.9%

講演内容は、満足のいくものでしたか



人権問題について関心や理解が深まりましたか



障がい者スポーツ体験教室（ボッチャ）

期 日 平成28年12月11日（日）

場 所 羽合小学校 ふれあいルーム

講 師 田中 啓さん（障がい者スポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員）



参加者 15名

当日は町民バレーボール大会が体育館で開催されており、試合についてきていた子どもたちにも参加を呼びかけました。ルールは簡単で初めての人にも親しみやすく、途中、車いすに乗ったり、身体が不自由で投球できない人が使用する専用の用具を使ったりしてゲームを楽しみました。車いすを体験した児童は、障がい疑似体験を通して、身体が自分の思いどおりに動かない感覚を体験したと話してくれました。今後も障がいのある人や障がいについて理解を深める学習として、スポーツ体験教室や交流活動などを企画していきたいと思います。

ご相談ください！

地域やグループ、事業所などで人権学習をしたいけれど、どんなふうに企画していいかわからない、最近の人権学習ってどうなってるの？

人権教育・学習に関わること、お気軽にご相談、お問い合わせください。町人権教育推進員が、ワークショップなどの研修会や人権学習をお手伝いします。



平成29年3月発行

発行・編集 湯梨浜町人権教育推進協議会（事務局：湯梨浜町教育委員会生涯学習・人権推進課内）

TEL 0858-35-5369 FAX 0858-35-5387

電子メール yshogai@yurihama.jp